

# 辻元清美・政治活動15年の「仕事の記録」

国政報告ニュース『つじとも通信』別冊



## 【1996年10月～1998年6月】 一年生が議員立法でNPO法作る。

役職●社民党政策審議会副会長 所属●安全保障委員会、環境委員会、科学技術委員会  
質問回数●31本 質問主意書●5本

### 1996年

- 10月1日 土井社民党党首から立候補要請
- 10月20日 第41回総選挙初当選（比例区近畿ブロック）、自社さ政権の連立与党として国会活動スタート。
- 11月7日 初登院、本会議の首班指名で「土井たか子」と書く。
- 11月11日 社民党政策審議会副会長に
- 11月28日 「与党NPO協議」スタート、「辻元私案」をつくって交渉
- 12月5日 安全保障委員会（以下「安保委」）で初質疑、辺野古問題を追及
- 12月9日 「与党三党政調調整会議」出席
- 12月16日 提案者のひとりとしてNPO法案提出、以後成立をめざして東奔西走
- 12月19日 震災特別立法に向けて神戸視察

### 1997年

- 1月30日 情報公開法国会議員シンポジウム
- 2月10日 予算委で橋本総理とODA論議「ボランティアの定義」を迫る
- 2月18日 「与党情報公開法制に関する協議会」スタート
- 2月21日 環境委で質疑（環境アセス、地球温暖化）
- 2月25日 科学技術委で質疑（米軍劣化ウラン投下）
- 3月5日 「フグ養殖ホルマリン問題」で小泉厚生大臣に要請
- 3月21日 新さくら丸で出版記念パーティ
- 4月10日 本会議で初の代表質問は環境アセス法について
- 5月6日 本会議代表質問（男女雇用機会均等法改正）、以後村山前総理の代打で労働委の審議に臨む
- 5月19日 社民党諫早視察
- 5月20日 阪神・淡路大震災被害者への公的支援法実現のためのアピール行進
- 5月28日 内閣委でNPO法案提案理由説明、以後答弁に立ち続ける
- 6月6日 NPO法案衆院通過に感涙
- 6月18日 「与党児童買春問題等プロジェクトチーム」スタート
- 7月14日～22日 欧州社民主義視察旅行（イギリス・スウェーデン）
- 9月12日 「与党COP3（地球温暖化防止）プロジェクトチーム」スタート
- 9月29日 災害被災者支援法の実現を求めるデモ、小田実さんと

原点は大阪の商売人の娘。学生時代にはNGO「ピースボート」を立ち上げ、人とモノと情報を動かし、経済活動にコミットしながら平和を追求。「市民起業家」のはしりだった。

1996年、土井たか子社民党党首の要請を受けて社民党から立候補、わずか2週間で国会議員となり、スニーカーとリュックで国会へ。初登院の日、初めての本会議の首班指名で党議拘束を破って「土井たか子」と書き「造反議員」に。

ときは自社さ連立政権。キャスティングボートを握った社民党の政策担当者として、自民党の大物議員たちと渡り合う。「取れるモンとったれ」の根性で、要の議員の家まで押しかけ説得しNPO法をつくる。政治家が一から十まで議論し、市民と共働してつくった法制定のプロセスは、「NPO方式」と呼ばれた。「一年生議員の議員立法は田中角栄元総理以来」と後に知り、逆に驚く。辻元は「あのころ、議員同士が法案を作り、自分の言葉で議論することが初めて実現した感じだった」と振り返る。その他情報公開法、児童買春・ポルノ禁止法などに取り組み成立させる。COP3「地球温暖化防止」プロジェクトチームメンバー。男女共同参画社会基本法、環境アセスメント法審議にも関わる。

政治は成果を挙げてナンボ。「小さいところを大事にしなければならぬ」（野中広務元自民党幹事長）「政治は4割主張が通れば御の字だ」（竹下登元総理）と学ぶ。



(1)「市民との絆」を掲げて出馬。土井さんを囲んで保坂展人さん、中川とも子さんと。(2)船上パーティー。菅直人さんがかけつけてくれた。(3)内閣委での初答弁、NPO法案について白熱した議論。「当時の議院運営委員長が辻元さんが答弁する姿を見て、「これが国会だ」と感動していた」（保坂展人さん）

【1998年6月～2002年3月】

# 総理、総理で国会論戦の主役に。

役職●社民党幹事長代理、社民党広報委員長、社民党政策審議会長  
所属●安全保障委員会、科学技術委員会 質問回数●58本 質問主意書●6本



10月26日～30日 地球温暖化防止会議事前会合（ドイツ）  
12月6日～7日 地球温暖化防止京都会議  
12月8日 NPO法案提案者会議

## 1998年

1月24日～25日 社民党幹事長代理に就任  
3月12日 安保委で質疑（海上ヘリポート問題）  
3月19日 「NPO法」成立  
3月30日 児童買春ポルノ禁止法発表記者会見  
4月1日 早稲田大学入学式で祝辞  
4月2日 安保委で質疑（防衛省設置法）  
4月28日 本会議代表質問（情報公開法）  
5月9日 高槻事務所オープニングパーティ  
5月12日 安保委で質疑（PKO法改正）  
6月1日 連立政権離脱記者会見  
8月30日 社民党広報委員長に就任  
9月3日 本会議代表質問（テポドン発射問題）  
9月28日 安保委で質疑（対人地雷禁止条約について）  
4月23日 ガイドライン関連法案反対記者会見  
11月17日～24日 土井たか子党首欧州視察に同行（ボン・ハンブルグ・ジュネーブ）  
12月18日 安保委で質疑（米・英軍によるイラク爆撃）

## 1999年

2月1日 予算委で小淵総理に詰め寄る  
3月12日 本会議代表質問、日米新ガイドライン通過に痛恨  
4月11日 統一地方選挙投票日、初当選を果たした小沢福子さんとガッツポーズ  
5月7日 科学技術委で質疑（使用済核燃料中間貯蔵問題）  
5月24日 高槻市民グループと共に、新ガイドライン問題で衆院議長への申入れ  
5月28日 安保委で質疑（コソボ問題）  
6月2日 従軍慰安婦問題についてマクドゥーガル国連特別報道官と懇談会  
6月8日 男女共同参画社会基本法について内閣委で質疑  
6月17日 本会議、会期延長反対討論「野中官房長官、大政翼賛国会になっているじゃないですか」  
7月1日 科学技術委で質疑（「もんじゅ」）  
7月21日 内閣委で質疑（国旗・国家法案）、しかし翌日に衆議院で可決  
8月5日 「NPO議員連盟」発足  
9月10日 東ティモール問題で官邸申入れ  
10月8日 科学技術委で東海村JOC事故視察  
11月16日 本会議代表質問（原子力災害特別措置法案等）  
12月1日 優遇税制について「NPO議員連盟」

視聴率13.1%。巨人戦の視聴率を国会中継が抜いたのは快挙。辻元清美が小泉純一郎元総理に集団自衛権の議論を挑み、「総理、総理」と迫ったときだ。

社民党の連立離脱後、周辺事態法や国旗・国歌法の制定、憲法審査会設置が矢継ぎ早に起き、タカ派的な流れを政権内で止めていた役割を痛感する。日本が戦争に荷担するのでは、という危機感から小泉政権を鋭く追及、野党屈指の論客に。

また「次は自分たちの手で政権をとろう」と覚悟を決めて、当時の4野党（民主党・自由党・共産党・社民党）政策責任者で共通政策づくりを開始。辻元は社民党政策審議会長として定期会合をもち、野党共闘の枠組みを作っていく。

選挙区を高槻市・島本町（大阪10区）に定めて地元の活動を開始。夏祭りを浴衣で走り回る。衆議院議員選挙では「無印候補」が与党現職を破って当選。世界経済フォーラム（ダボス会議）で「明日の世界のリーダー」100人に選ばれる。





(4) 辻元清美の名前を全国区にした場面。しかし、肝心の質疑の内容を憶えている人は少ない。実は、小泉総理の掲げる集団的自衛権の行使が憲法9条とは相容れないものであり、従来の政府見解もそうであったことから、あらためて総理の見解をたじたもの。小泉総理は「武力行使を伴わない後方支援を研究する」と答弁したが、後方支援そのものが武力行使と一体と見られるのが国際通念だ。ベトナム戦争に韓国が参戦したのも集団的自衛権を行使したからではないか。このままではアメリカの戦争に日本が参戦することにつながる。このような重大問題に正確な認識のないまま総理が集団的自衛権をふりかざすのは大問題だ——と「総理、総理！」。



(5) 小淵恵三総理ともずいぶん議論した。有名な「フツホン」が国会事務所にかかってくることも度々あった。

(6)(7) 野中官房長官と男女共同参画社会基本法について議論。しかし成立直後に女性知事が土俵に上がれなかった問題が起きた。予算委で青木官房長官に「がっぷり四つに組んだ答弁を」。



(8)(9) 地元と定めた高槻・島本で街頭演説を開始（高槻西武前で）。初めは誰も立ち止まらなかったが、地道な活動が実を結び、無印だった2000年総選挙、731票差の小選挙区勝利！

(10) 社民党が連立離脱後に立ち上がった憲法調査会。土井さんとともに護憲の論陣を張る。2005年以降は憲法調査特別委員として孤軍奮闘することに。

#### 第一次提言

- 12月14日 衆院政治倫理・公職選挙法特別委員会、議員定数削減法強制採決阻止
- 12月18日 ジョスバン仏首相との意見交換会

#### 2000年

- 1月13日 原子力政策円卓会議
- 2月16日 東海村臨界事故被曝市民と共に科学技術庁への申し入れ
- 2月23日 大相撲問題について予算委で質疑、「がっぷり四つに組んだ答弁を」
- 2月24日 安保委で質疑（沖縄ヘリポート基地問題）
- 4月25日 スウェーデン国営TV取材（女性の政治参加）
- 6月25日 第42回総選挙の投票日、高槻市・島本町（大阪10区）にて731票差で当選
- 7月4日 特別国会スタート、予算委と憲法調査会で論戦を展開
- 7月20日 沖縄嘉手納基地包囲行動に参加
- 7月29日 社民党政策審議委員会に就任
- 9月1日～4日 Global Leaders for Tomorrow Summitへ
- 9月7日 日本外国特派員協会にて講演
- 9月10日～16日 衆院欧州憲法調査団に参加
- 10月11日 教科書検定について文部省申し入れ
- 11月21日 NPO議員連盟東京フォーラム
- 11月22日 キューバ議長との懇談会
- 12月19日 小林カツ代さん、竹下景子さんらと「神楽坂女性合唱団」に参加

#### 2001年

- 1月18日 4野党政策責任者会議
- 1月28日 ダボス会議出席、「明日の世界のリーダー」100人に選出
- 4月15日 島本町議会選挙、女性議員の比率日本一（44.4%）に
- 5月11日 選択的夫婦別姓早期実現を森山法務大臣に申し入れ
- 5月15日 衆議院予算委員会で質疑、「総理、総理！」で視聴率13.1%を記録
- 6月14日 駐日欧州連合代表部経済担当者との意見交換
- 8月14日 首相の靖国神社参拝について官邸申し入れ
- 9月3日 CNN『World News』取材、国際社会の安全保障について
- 9月8日 大阪で「職場の人権」シンポジウム
- 9月13日～15日 ベルリン日独センター主宰シンポジウム「指導的立場にたつ女性」基調講演（ベルリン）
- 9月26日 在日米・仏商工会議所ヤングプロフェッショナル委員会で講演
- 10月5日 予算委で質疑（同時多発テロへの対応）
- 10月20日～24日 党パキスタン調査団 パキスタン調査（パキスタン）
- 11月26日 テロ対策特別委員会で質疑（自衛隊派遣）

## 連盟設立総会



(11) 辻元清美の強みは、超党派に広がるネットワーク。NPO法制定をきっかけに生まれたNPO議員連盟は、現在も活発に活動をしている。この日の設立総会は、NPOといっしょに行われた。国会史上初(?)の試みか。

### 超党派の議員連盟で活動しています！

15団体：恒久平和議員連盟/NPO議員連盟/公共事業チェックを実現する議員の会/日米国会議員連盟/沖縄等米軍基地問題議員懇談会/日朝国交正常化推進議員連盟/日本EU友好議員連盟/日中友好議連/日韓議員連盟/日仏友好議員連盟/日本欧州評議会友好議員連盟/アムネスティ議員連盟/死刑廃止を推進する議員連盟/TABLE FOR TWO推進議員連盟/東ティモール議員連盟（2010.9現在）

【2002年3月～2009年9月】

# 辞職・裁判、復帰。目指すは政権交代。



役職●社民党政策審議会長代理、女性青年委員長

所属●憲法調査特別委員会、安全保障委員会、外務委員会 質問回数●69本 質問主意書●67本

## 2002年

3月26日 議員辞職

## 2003年

7月18日 逮捕

## 2004年

2月26日 執行猶予付き有罪判決が確定

7月11日 第20回参議院選挙に大阪府選挙区から無所属で出馬、718125票で次点

11月2日 高槻の街頭で集めた中越大地震の募金をNPOに届けるため被災地へ

## 2005年

1月17日 辺野古を訪問、オジイたちに勇気もらう

5月26日 京都・クラブメトロ大学で講演

6月6日 早稲田大学で憲法シンポジウム、枝野幸男議員、河野太郎議員と激論

9月11日 第44回衆院選挙に社民党から出馬、近畿ブロック比例区で当選

9月21日 初登壇

10月6日 憲法調査特別委で質疑、以後多いときは連日の委員会開催となる「憲法漬け」の日々

10月12日 中国大使館公使と面談

10月16日 国民投票法公開討論会に参加

10月21日 安保委で質疑（自衛隊のイラク派遣の“費用対効果”）

10月22日 韓国済州島で「平和のための国会議員会議」に参加、東アジアから100人の国会議員が集まり意見交換

11月7日～18日 憲法調査特別委・欧州視察

## 2006年

2月8日 予算委員会、靖国問題をめぐる4年ぶりに小泉総理と論戦、「アジアの平和に向けた未来志向の提案を」

2月16日 アスベスト裾切り問題で交渉

2月19日～23日国際ボランティア学会シンポ

2月26日 大阪で国民投票法案についての公開討論会

2月27日 安保委で質疑、核のダブルスタンダードを追及

3月23日 憲法調査特別委で基調発言

4月5日 社民党男女平等政策プロジェクトチーム、政策のとりまとめに奔走

5月11日 ヤジと怒号のなか本会議で代表質問、「日本は米国の自動現金支払機ではない」

5月12日 防衛庁の懇談会で講義

5月15日 教育基本法改悪審議を急ぐため設置された特別委員会、理事懇談会で疑問をぶつける

5月23日 超党派の恒久平和議連で恒久平和

追及の急先鋒から一転、秘書疑惑問題で辞職。一年以上たってからの逮捕・裁判。雑居房で「イラク支援法案」の成立を知る。取り調べの中で「一切の政治的活動をやめろ」と言われ拒否。「権力」を思い知ると同時に、地元の方々の励ましや友人たちの活動と共に、全国から寄せられた33036筆の署名に勇気をもらう。そして執行猶予判決。

その後介護ヘルパー2級を取得、大阪中を歩いて自分の原点を取り戻す。「誰もがしんどさを抱えて、精一杯生きている。希望を求めるから苦悩するんや」——周囲の反対を押して小泉総理との決着をつけようと参議院選挙へ出馬、718125票を獲得するも惜しくも次点落選。今度は全国を回って、面白い活動をしている人たちに出会う。

2005年、郵政選挙で衆議院議員に復帰。憲法調査特別委員として、二大政党の間に割って入って、改憲派に有利な国民投票法案の成立阻止に全力を傾ける。

また安全保障委員、外務委員として奔走。とくに辺野古問題では、オスプレイ配備やグアム移転の矛盾について国会で厳しく追及する一方、運動団体と政治をつなぐ役割も果たす。

2007年の参議院選挙では民主党が勝利、政権交代をめざした野党三党（民主党・社民党・国民新党）のスクラムが始まる。



(12)「ホワイトカラー・エグゼンプション問題」やワーキングプア問題、障がい者の応益負担問題、イラク戦争、憲法問題などで安倍総理を追及、紛争の調停外交を提案「総理、政治の最大の教科書は『歴史』です」  
(13)イージス艦の衝突事故をめぐる、福田総理と激論「総理、勝浦へ行ってください」

(14)「おばあちゃんのお原」と呼ばれる巣鴨・地藏通りで後期高齢者医療制度反対の4野党共同街頭演説。国民の怒りを代弁した、重量級メンバーによるド迫力演説は野党共闘の象徴的なシーンだった。





### 調査局設置法案提出

- 5月30日 安保委で質疑、「辺野古移設は複合基地の新設だ」
- 6月1日 本会議で代表質問、「国民投票法案は単なる手続き法ではない。改憲準備法だ」
- 6月6日 ドイツ社民党議員団と会談
- 6月7日 憲法調査特別委で欧州議会議員団と会談
- 7月4日 障害者自立支援法反対・人間の鎖
- 7月13日 高槻から茨木へ非核平和行進
- 9月11日 ノルウェー子ども・平等省大臣と会談
- 10月17日 安保委で質疑、麻生外相の「核保有議論容認発言」を引き出す
- 11月7日 安保委で質疑、防衛施設庁談合問題で「天下りファイル」の存在を明らかに
- 11月30日 衆議院本会議、防衛「省」昇格法で反対討論「国会を大政翼賛会にするな」
- 12月7日 憲法調査特別委で質疑、辻元の質問時に与党法案提出者が不在で紛糾
- 12月12日 辻元に対する「核保有論議」発言で麻生外相不信任案提出を野党三党が合意
- 12月19日 日中青年交流に向けて訪中

### 2007年

- 1月17日～18日 沖縄・キャンプシュワブへ安保委視察
- 1月29日 超党派の女性議員で柳沢厚相に抗議、記者会見
- 1月30日 本会議、安倍総理の所信表明演説に対する代表質問
- 2月15日 「キャンノン偽装請負」に反対するユニオンの若者たちと意見交換
- 3月16日 従軍慰安婦に関する質問主意書で引き出した「強制連行はない」答弁を海外メディアが紹介、国際問題となる（その後も主意書で徹底追及）
- 3月12日 憲法改悪反対のヒューマンチェーンで国会を囲む
- 4月11日 憲法行脚の会で情勢報告
- 4月12日 憲法調査特別委で国民投票法案の強行採決に怒り
- 4月13日 本会議で国民投票法案採決、反対討論
- 5月18日 安保委で質疑、防衛省内のセクハラ件数明らかに
- 5月24日 安保委で質疑、久間防衛大臣の「辺野古の反対運動に対する自衛隊の威嚇は雪祭りと同じ」発言引き出す
- 5月30日 辺野古への自衛隊艦船派遣問題で久間防衛大臣に申入れ
- 6月13日 米軍基地（横田飛行場・キャンプ座間）を視察
- 8月10日 超党派による「格差是正に取り組

む議員有志の会」結成。

- 9月2日～4日 日韓議員連盟で訪韓、盧武鉉大統領らと会談
- 9月29日 「教科書検定意見撤回を求める沖縄県民大会」に参加
- 10月3日 教科書検定意見の撤回を求めて渡海文部科学大臣へ申入れ
- 11月1日 テロ対策特別委員会で質疑、町村官房長官の「海自の給油を受けた艦船がイラク作戦に従事しても構わない」発言が問題に
- 12月19日～20日 薬害肝炎問題の解決を求めてアピール、薬害被害者と面談

### 2008年

- 2月10～11日 超党派訪韓団で韓国訪問、加藤紘一議員らと「ビビンバの会」結成
- 2月13日 米大使館、外務省申入れ「沖縄少女暴行事件抗議」
- 2月21日 唐家璇・中国國務委員と会談
- 2月22日 安保委で質疑、イージス艦衝突事故で石破防衛大臣の「情報操作発覚なら辞任」発言引き出し、調査団として勝浦漁協へ
- 2月29日 予算委集中質疑で福田総理と激論
- 3月29日 反貧困フェスタ2008に参加
- 4月23日 CivilG8対話（2008G8サミットNGOフォーラム）に参加
- 5月5日 9条世界会議に参加
- 5月12日 大阪で青年会議所主催の「憲法タウンミーティング」出席
- 6月4日 東京・巣鴨の商店街で4野党共同街頭演説「後期高齢者医療制度廃止」
- 8月19日～20日 安保委でイージス艦などを視察（対馬・佐世保）
- 11月27日 安保委で質疑、田母神問題を端緒に航空自衛隊教育課程での「自虐史観」排除を発見・追及
- 12月16日 安保委で質疑（文民統制、仲介外交推進など）
- 12月28日 年越し派遣村訪問、その足で「朝まで生テレビ」に出演し激論

### 2009年

- 1月4日 年越し派遣村訪問
- 1月6日 本会議で麻生総理に代表質問、「人を幸せにする仕事づくりで日本を変えよう」
- 2月23日 予算委で質疑（経済政策、グアム協定）
- 3月25日 外務委で質疑（ミサイル防衛問題）
- 4月1日 河野外務委員長らを連れて辺野古へ
- 4月10日 外務委で麻生総理に対し、米海兵隊8000人のグアム移転の矛盾追及
- 7月1日 外務委で質疑、日米密約を追及
- 7月30日 高槻でシンポ「安心社会の設計図を描く」上野千鶴子さん、湯浅誠さんと議論

(15)参議院選挙、「ごめん」カーで出直し選挙。(16)中越地震被災者への募金を高槻駅陸橋で呼びかける。お預かりして、一路小千谷市へ。(17)憲法調査特別委員会の欧州視察。「憲法改正には議会内の合意だけでなく主権者のコンセンサス作りが大切だ」(スペイン、フンコ政治・憲法研究所長)という言葉をかみしめる。写真はスイスのフーバー長官。(18)集団自決をめぐる「教科書検定意見撤回を求める沖縄県民大会」では、沖縄の怒りを痛感。超党派ネットワークをフル活用して、撤回をめざす。(19)「政界再編の目か?」と注目を浴びた「ビビンバの会」。命名者は辻元清美。(20)民法772条の「嫡出推定」の改正を求める超党派勉強会。与野党の垣根を越えて改正をめざす。(21)何度も通った年越し派遣村。この後、本会議の代表質問で貧困問題を追及し、解決策「ヒューマン・ニューディール」を提案。(22)グアム協定めぐり、外務委員会は連日激論。辻元提案で辺野古の外務委員会視察が実現、河野外務委員長が座り込み現場を訪問した。「私たちの声を直接聞こうとした与党議員は初めてだ」と感激の声。

[2009年9月~]

# 女性初の国対委員長、 そして国土交通副大臣に就任。

## 誰もが住みたいと思う国へ。

役職●社民党国会対策委員長、国土交通副大臣（運輸・交通・観光・危機管理・気象担当）  
→観光立国推進本部事務局長、緊急雇用対策本部メンバー、地球温暖化「鳩山タスク  
フォース」メンバー、JAL再建対策本部事務局長 他 ※辞任後の所属●環境委員会



選挙による本格的な政権交代。辻元清美も高槻市・島本町（大阪10区）で小選挙区当選を果たす。すぐに永田町に飛び、三党連立合意づくりに奔走。岡田克也民主党幹事長と水面下で交渉する姿を「忍者」（朝日新聞）と称される。連立合意した後は、女性初の国会対策委員長に就任。

そして国土交通副大臣に就任。「国交省が変われば日本が変わる」を合言葉に変革の最前線で激務をこなす。自民党時代の負の遺産を整理するため、就任後すぐに無駄な公共事業削減に着手、国交省全体で1兆円の無駄をカット。当事者の声を政治に直結させるなど政治の意思決定のプロセスを大転換させ、交通基本法策定に邁進。同時にJAL再建の事務局長として大プロジェクトをしきる。また観光立国推進本部の事務局長として、抵抗する省庁を押し切って中国人旅行者のビザ取得要件（所得制限）を緩和させ、観光政策に取り組む。23年解決しなかったJR不採用問題を和解に導き、元「派遣村」村長の湯浅誠さんらと貧困のセーフティネットづくりにも取り組んだ。

普天間問題では、辺野古移設をとめるために水面下で活動。官邸や米国政府関係者とも議論を重ね、反対派の議員や地元の運動と連携して2009年12月の危機を回避。名護市長選挙へとつなげる。しかし辺野古を盛り込んだ日米合意と福島党首罷免により社民党が政権離脱、辻元も副大臣を辞任。その後鳩山政権が倒れ、菅政権が発足する。辻元は参議院選挙後、「政権交代の意義を前に進め、一步でも現実を動かしていく」道を選択するため、長年ともにたたかい、支えていただいた社民党を離党。



(23)



(26)



(27)



(28)



(24)



(25)

(24)山のような予算書。これを政治主導でイチから書き換える。税金の無駄遣いをなくし、優先順位を暮らし優先に！

(25)国交副大臣の認証式。着ていく衣装がなくて大慌て。

(23) ピースボートで初めて訪問して以来、16回目となるベトナム訪問。日本人が渡航自粛するなか、ハノイから1週間かけて車で北上し、交渉を繰り返した時代から24年、そのベトナム南北を「新幹線であつなごう」と副大臣として提案することになった。写真はASEAN 運輸大臣会合恒例の「各国歌合戦」。『歌って踊れる国交外交』(?)を展開、各国の大臣級がかけあがって踊り始め、この日一番の盛り上がり。翌日ASEAN 事務局長から「来年はブルネイ開催だが、あなたのダンスがもう一度みたい」と言われる。

(26)JR 福知山線事故情報漏洩問題で、JR 西日本社長と面談。

(27) 与党幹事長・国対委員長会談。小沢民主党幹事長、重野社民党幹事長らと。

(28) 交通基本法策定に向け、国交省の全部局が集まって議論を積み重ねた。

## 辻元清美・国土交通副大臣としての8カ月間のとりくみ

### 見直す

補正予算	就任翌日からとりくんだ仕事。前政権の決めた補正予算から、急ぐ必要のない事業や無駄な予算を洗い出し、9170億円をカット。
2010年度予算	補正予算のチェックが終わったらすぐに2010年度予算の概算要求を見直し。公共事業予算をゼロベースで見直し、公共事業だけで8739億円をカット。その他、高齢者向け住宅の整備や観光立国の推進に予算を増加。
税制	国交省の所管する多くの租税特別措置を、一つひとつ見直し。
会合	各地の自治体や業界団体などが主催する建設・運輸関連の会合や勉強会について、官僚の参加・不参加を「仕分け」。
審議会・公益法人	国交省内にある様々な審議会や有識者会合、関連する公益法人について、役割を精査した上でメンバーも再考。女性の参画も大促進！

### 立ち止まる

ダム	「できるだけダムにたよらない治水」への政策転換をめざし、検討チームを設置。143ダム事業のすべてを見直し、来年度も継続する事業と、新しい治水策で検証し直す事業とに分類。
高速道路・整備新幹線	いったん立ち止まって、新規の高速道路建設や整備新幹線を再検討し、透明性を確保するために評価委員会で細かく検討。高速道路無料化については、他の公共交通や環境への影響を考えて、慎重に対応。

### つくる

鉄道・バス・タクシー・航空船(外航+内航)	老いも若きも、障がいがあってもなくても「移動の権利」を保証する交通基本法の制定に向け、省内に検討会を設置。人にやさしいまちづくりを進める。JAL再建問題については対策チームの事務局長として奔走。空港整備特別会計の見直しや、関西三空港問題に取り組む。
-----------------------	--

### まもる

地球温暖化	地球温暖化問題に関する閣僚委員会副大臣級検討チームのメンバーに。
雇用	"官邸に立ち上がった「緊急雇用対策本部」の事務局長に。仕事・住宅・生活保護などのワンストップ窓口設置やエコ住宅の推進、雇用拡大に向けた経済政策を提言。地域農林業を再生し、介護や保育など「ひと」に関わる仕事づくりと労働環境の改善を進めた。また、元派遣村村長の湯浅誠さんらとパーソナルサポートサービスや住宅セーフティネットの整備を推進。村山政権でも解決できなかったJR不採用問題を、23年目の和解に導く。"
運輸安全委員会	JR福知山線事故の情報漏えい問題を受けて、遺族の方々の思いを受け止め検証委員会に被害者の方々に入ってもらうとともに、再発防止対策を進める。
公共交通	人口減少地域のバスなど地域の足を確保するため、支援を強化。タクシーの行き過ぎた規制緩和に歯止めをかけ、不当な割引が誘発されず民間の創意工夫がもたらされるよう政策転換。ユニバーサル社会をめざし交通基本法＝「交通の憲法」づくりをオール国交省で推進。
平和	政権の内側から憲法を守り、平和のための国際貢献を推進。普天間基地問題では沖縄の歴史を見つめ地元の声に耳を傾け、負担軽減のために奮闘。観光は平和産業だ、と中国人旅行者のビザ緩和要件緩和を実現。中国人旅行者増大の後押しを図る。

### のびす

成長戦略	「海洋」「観光」「航空」「国際展開」「住宅・都市」の各分野について成長戦略を策定し、2011年度予算・政策に反映させることを前提に検討を進める。とくに新幹線については、ベトナムをはじめブラジル・アメリカなどに高速鉄道として導入を働きかける。
まちづくり・観光	観光を内需拡大のエンジンに！ 自転車と徒歩と公共交通で暮らせるエコ・コンパクトシティを！ 観光立国推進本部の事務局長として、成長戦略会議の平田オリザさんらと知恵をしばりながら、文化・スポーツを組み合わせた観光戦略を推進。外客の誘致や休暇の分散化、省庁横断の取り組みを進める。観光庁長官として、元J1大分トリニータ社長を迎え入れる。
海上保安庁	「しきしま」級の巡視艇建設で、海上自衛隊に頼らない海の安全確保を推進。
国際	ベトナム開催のASEAN+日本の交通大臣会合に出席、共同議長を務める。温暖化対策の枠組みと、安心・安全・エコ対策に必要な公共交通関係の統計について統一フォーマットを提案。ASEAN諸国の閣僚と意見交換を行う。ベトナム政府には二国間で運輸部門の次官級定期会合を年1回もつことを提言。「南北高速鉄道」などの大型インフラ整備事業の検討を進める枠組みを決めた。名古屋開催の日中韓観光大臣会合にホスト国代表として出席。また鳩山総理らとともに、政府代表として地球環境行動会議（GEA）の国際会議に出席、地球温暖化に関して抱負をのべる。ドイツで開かれた国際交通フォーラムにも前原大臣の代理で出席。

私はいま、衆議院国土交通委員会の与党筆頭理事として仕事をしております。交通基本法の制定、ダムに頼らない治水の実現、観光立国推進、航空再生、セーフティネットとしての住宅政策など、国土交通政策でとりむべき課題は山積しています。国交副大臣時代に行政府の立場で取り組んできた政策を、今度は立法府の立場で政策実現を果たして参りたいと思います。

また、国会内では無所属ながら民主党と統一会派を組む無所属クラブに入って活動しております。

NPOなどの優遇税制を実現する「新しい公共調査会」では副会長として、超党派のNPO議員連盟では幹事長として、NPOのみなさんとも議論しながら政策実現を進めています。

また、国交副大臣時代に湯浅誠さんたちと進めてきた「パーソナル・サポート・サービス」などの生活再建政策について、与党内の動きを立ち上げようと動いています。

外交安全保障についても、超党派訪中団への参加など、議員外交を展開中です。

私は、政権交代を果たしたいま、自分の手で政策を具体化し実現させて、国民のみなさんに「ここをこう変えて、暮らしやすくしました」と示せる役割を目指したいと考え行動中です。ナショナリズムが高揚する不穏な空気のなか、それが「いつかきた危ない道」へと舵を切らせない方法だと信じて。

新しいスタートを切ってがんばります。

ますますのご支援をよろしくお願い申し上げます。

2010年12月12日 辻元 清美



## 政治活動15年、50歳になった辻元清美を、 もっと働かせてください！

### ●世代間連帯を進め、共生社会を

税金使途の優先順位を命や子どもたちの未来優先に。社会保障制度を家族単位から個人単位にし、年金一元化を推進。出産・子育てを「社会化」し、女性が子育てしながらイキイキ働ける社会をめざす。

### ●日本をNPO/NGO大国へ

NPO法を作った経験や、国内外のNPO/NGOネットワークを活かして日本を変える。介護や医療など「ひと」に関わる新しい雇用をつくり、自立のための国際援助を通した人道大国へ！

### ●憲法そして平和をまもる

NGOと連携した「平和仲介外交」「軍縮イニシアティブ」で、核廃絶と平和のための国際貢献を推進する。人道支援こそ日本の安全保障の切り札！

### ●観光でまちづくり・仕事づくり

「観光立国推進本部」事務局長として、中国人個人旅行者のビザ取得要件緩和をとりまとめた経験を活かす。観光を内需拡大の切り札に。地方経済活性化と国際交流、雇用促進を加速！

### ●移・職・住のセーフティネットを

JR不採用問題を和解に導き、交通基本法＝「交通の憲法」づくりの道筋をつけた政策実現力で、高齢者や障がい者の方々をはじめ、すべての「ひと」と地球に優しい公共交通と、そこで働く人々の労働環境をまもる。自転車と徒歩と公共交通で暮らせるエコ・コンパクトシティ作りをすすめ、「緊急雇用対策本部」で取り組んだ住まいのセーフティネットづくりをパワーアップ！

発行：辻元清美とともに！市民ネットワーク

〒569-0805大阪府高槻市上田辺町6-20 寺本レザダンス2F TEL072-685-0631 FAX072-686-2396

E-mail●info@kiyomi.gr.jp URL●http://www.kiyomi.gr.jp/ 郵便振替●00960-3-150256

本誌の記事・写真などの無断転載・複写を禁じます。